泉大津市文化財調査報告22

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報10

1992・3

泉大津市教育委員会

泉大津市文化財調査報告22

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報10

1992・3

泉大津市教育委員会

例　　言

1．本調査概報は、泉大津市教育委員会が、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内において、開発行為に先立って実施した発掘調査記録である。

2．本調査は、泉大津市が国庫補助事業及び、大阪府補助事業（総額880,000円、国補助率50％、府補助率25％、市負担率25％）として、計画・実施したものである。

3．本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者　泉大津市教育委員会教育長　　藤原勇三
調査担当者　泉大津市教育委員会社会教育課　坂口昌男
　　原島麻実
調　査　員　辻川陽一
事　務　局　泉大津市教育委員会社会教育課

4．本事業は、平成3年度事業として、平成3年4月1日に着手して、平成4年3月31日に完了した。

5．本書の作成は、坂口・原島が分担して行った。

目　　次

第１章　埋蔵文化財調査の状況…… 1
第２章　発掘調査報告…… 8
１．豊　中　遺　跡…… 8
２．池上・曽根遺跡…… 20
３．板　原　遺　跡…… 24

挿　　図

第１図　遺跡分布図…… 7
第２図　豊中遺跡調査地点図…… 8
第３図　豊中遺跡第１地点掘削位置図…… 9
第４図　豊中遺跡第１地点南壁断面図…… 9
第５図　豊中遺跡第２地点掘削位置図…… 10
第６図　豊中遺跡第２地点南壁断面図…… 10
第７図　豊中遺跡第３地点掘削位置図…… 11
第８図　豊中遺跡第３地点出土遺物…… 11
第９図　豊中遺跡第３地点南壁断面図・平面図…… 12
第10図　豊中遺跡第４地点掘削位置図…… 13
第11図　豊中遺跡第４地点南壁断面図…… 13
第12図　豊中遺跡第５地点掘削位置図…… 14
第13図　豊中遺跡第５地点南壁断面図…… 14
第14図　豊中遺跡第５地点出土遺物…… 14
第15図　豊中遺跡第６地点掘削位置図…… 15
第16図　豊中遺跡第６地点南壁断面図…… 15
第17図　豊中遺跡第７地点掘削位置図…… 15
第18図　豊中遺跡第７地点東壁断面図…… 16

第19図　豊中遺跡第８地点掘削位置図…… 16
第20図　豊中遺跡第８地点東壁断面図…… 16
第21図　豊中遺跡第９地点掘削位置図…… 17
第22図　豊中遺跡第９地点東壁断面図…… 17
第23図　豊中遺跡第10地点掘削位置図…… 18
第24図　豊中遺跡第10地点南壁断面図…… 18
第25図　豊中遺跡第11地点掘削位置図…… 19
第26図　豊中遺跡第11地点東壁断面図・平面図…… 19
第27図　池上・曽根遺跡調査地点図…… 20
第28図　池上・曽根遺跡第１地点掘削位置図…… 20
第29図　池上・曽根遺跡第１地点南壁断面図…… 21
第30図　池上・曽根遺跡第２地点掘削位置図…… 21
第31図　池上・曽根遺跡第２地点西壁断面図…… 21
第32図　池上・曽根遺跡第３地点掘削位置図…… 22
第33図　池上・曽根遺跡第３地点北壁断面図…… 22
第34図　池上・曽根遺跡第４地点掘削位置図…… 23
第35図　池上・曽根遺跡第４地点北壁断面図…… 23
第36図　池上・曽根遺跡第４地点出土遺物…… 23
第37図　板原遺跡調査地点図…… 24
第38図　板原遺跡調査地点掘削位置図…… 24
第39図　板原遺跡調査地点西壁断面図…… 24

挿　　表

表１　遺跡別届出件数…… 1
表２　遺跡別調査件数…… 2
表３　平成３年度調査一覧表…… 2
表４　平成２年度調査一覧表(追加分)…… 6

図　　版

1 ……豊中遺跡第1地点調査区　　豊中遺跡第2地点調査区

2 ……豊中遺跡第3地点調査区

3 ……豊中遺跡第4地点調査区　　豊中遺跡第5地点調査区

4 ……豊中遺跡第6地点調査区　　豊中遺跡第7地点調査区

5 ……豊中遺跡第8地点調査区　　豊中遺跡第9地点第2トレンチ

6 ……豊中遺跡第10地点調査区　　豊中遺跡第11地点調査区

7 ……池上・曽根遺跡第1地点調査区　　池上・曽根遺跡第2地点調査区

8 ……池上・曽根遺跡第3地点調査区　　池上・曽根遺跡第4地点第1トレンチ

9 ……池上・曽根遺跡第4地点第2トレンチ　　板原遺跡調査地点調査地区

10……豊中遺跡第3地点出土土師器　　豊中遺跡第5地点出土須恵器

池上・曽根遺跡第4地点出土飯蛸壺　　池上・曽根遺跡第4地点出土弥生土器

第１章　埋蔵文化財調査の状況

平成３年度における埋蔵文化財発掘届出等の件数及び調査件数は、表１、２のとおりである。埋蔵文化財発掘届出件数は、平成４年１月31日現在で157件で、平成元年からほぼ横這い状態である。内訳は、個人住宅建設、電話・電気工事、工場・倉庫建設、共同住宅建設は、それぞれ、１件～７件減少しているが、ガス・水道工事は12件、店舗・事務所建設は２件増加している。工事種別の比率は、個人住宅建設18％（昨年21％）、ガス・水道工事54％（同44％）、電話・電気工事７％（同11％）で、個人住宅建設関連工事の合計が79％と、全体の3/4以上を占める。これらは掘削深度が浅く、面積も狭小なため、立会調査及び部分調査のみとなる場合が多く、ここ数年来の本市における発掘調査の特徴である。以上の工事の他に、昭和63年頃からみられる共同住宅の建設が今年度も数％を占め、工事種別の一項目として定着した感がある。また、本年度は大規模な建設工事が数ヶ所予定され、それに先立ち開発区全域にわたる発掘調査を実施したが、これらが市域における新たな開発の前兆であるかどうか、現時点では定かではない。

表１　遺跡別届出件数　（平成３年４月１日～平成４年１月31日）

遺跡名	件数	内訳						
		個人住宅	ガス･水道	電話･電気	工場･倉庫	店舗･事務所	共同住宅	その他
池上・曽根遺跡	35	12	18	3		1	1	
豊中遺跡	39		20	4	3	6	5	1
虫取遺跡	25	4	14		1	4	1	1
大園遺跡	7	3	4					
板原遺跡	9		6		1	2		
池浦遺跡	24	5	16	1	1	1		
穴師遺跡	1			1				
七ノ坪遺跡	7	2	3	1			1	
東雲遺跡	3			1			2	
穴田遺跡	1					1		
苅田城跡	1	1						
城の山	2		2					
森遺跡	1	1						
薬師寺跡	2		2					
計	157	28 (18%)	85 (54%)	11 (7%)	6 (4%)	15 (10%)	10 (6%)	2 (1%)

表２　遺跡別調査件数

（平成３年４月１日～平成４年１月31日）

遺跡名	件数	内訳		
		発掘調査	立会調査	慎重工事
池上・曽根遺跡	16	4	12	
豊中遺跡	18	10	8	
虫取遺跡	14	3	11	
大園遺跡	1		1	
板原遺跡	2	1	1	
池浦遺跡	10		10	
七ノ坪遺跡	1		1	
東雲遺跡	2		1	1
苅田城跡	1		1	
助松遺跡	1		1	
森遺跡	1		1	
遺跡外	1	1		
計	68	19	48	1

表３　平成３年度調査一覧表

（平成３年４月１日～平成４年１月31日）

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考（調査番号）
4・4	宇多1046－65	虫取遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・9	曽根町１丁目445、446、420－9	池上曽根遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・11	曽根町１丁目102－1	池上曽根遺跡	発掘調査	住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9105)
4・11	池浦町２丁目486－14	虫取遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・12	板原1011、1012の一部、1013、1010の一部	板原遺跡	発掘調査	倉庫建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。(9106)
4・18	池浦町４丁目213－1、我孫子476－1	池浦遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・22	森町２丁目232－1	池上曽根遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・22	池浦町５丁目212－9	池浦遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・23	豊中２丁目760－1	豊中遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。

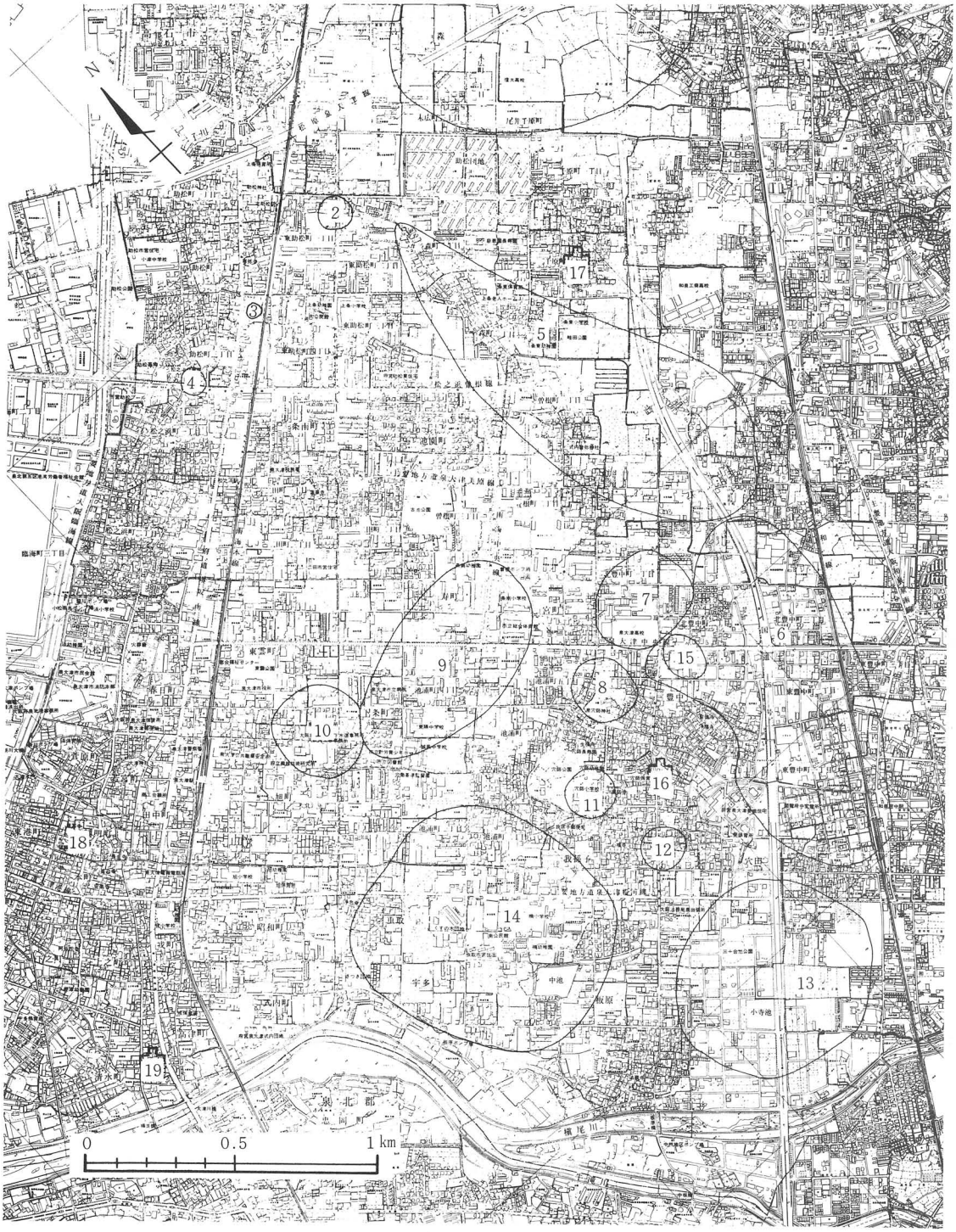
月　日	調　査　地　番	遺　跡　名	調査内容	備　　考（調査番号）
5・1	綾井45－1の一部	大園遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
5・8	我孫子480－3 池浦225－6	池浦遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
5・13	下条町167－5 167－6	池浦遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
5・16	我孫子299－1	虫取遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
5・24	下条町614－10	池浦遺跡	立会調査	住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。
5・28	旭町500	遺跡範囲外	発掘調査	駅東再開発に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。
6・4	曽根町2丁目1－3	池上曽根遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
6・8	池浦町5丁目212－9	虫取遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
6・15	板原347－1の一部	虫取遺跡	立会調査	車庫付き貸事務所建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
6・19	豊中956－6	豊中遺跡	発掘調査	貸倉庫建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器・須恵器・瓦器検出（9107）
6・26	助松町3丁目208－4	助松遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
6・27	豊中654－1	豊中遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。（9108）
7・3	北豊中町3丁目977-6の一部	豊中遺跡	発掘調査	倉庫建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。（9109）
7・4	豊中946－5 －6	苅田城跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・4	東豊中町1丁目95－3	豊中遺跡	立会調査	事務所付倉庫建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
7・5	曽根町1丁目440	池上曽根遺跡	発掘調査	住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。（9110）
7・9	東助松町1丁目427－4	森遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・11	森町1丁目102－14	池上曽根遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・15	下条町4－12	池浦遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
7・16	曽根町2丁目201-1の一部	池上曽根遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・16	曽根町2丁目201－1 202、203	池上曽根遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。

月　日	調　査　地　番	遺　跡　名	調査内容	備　　考（調査番号）
7・16	寿町79－23	池浦遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・20	北豊中町２丁目983－2	豊中遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・24	我孫子551－２ 穴田55－７	豊中遺跡	発掘調査	貸事務所建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器・須恵器・磁器検出（9111）
7・26	東豊中町１丁目95－３	豊中遺跡	立会調査	給水管・下水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
7・30	曽根町１丁目３－26	池上曽根遺跡	発掘調査	住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。磁器検出（9112）
7・31	池浦町２丁目576－4 －5	虫取遺跡	発掘調査	道路拡張工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められず。（9113）
7・31	曽根町２丁目36－１	池上曽根遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
8・2	東豊中町３丁目28－78 －79 －80	豊中遺跡	立会調査	店舗建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
8・5	池浦町２丁目496－5 －6	虫取遺跡	発掘調査	道路拡張工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められず。（9114）
8・9	千原町２丁目256－1 257－1 258	池上曽根遺跡	発掘調査	遊技場建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。弥生式土器等検出（9115）
8・20	我孫子256－１ 虫取36－１	虫取遺跡	立会調査	事務所付倉庫建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
8・23	森町１丁目103－５	池上曽根遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
9・4	東雲町６－39	東雲遺跡	立会調査	電気管路埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
9・12	東雲町１丁目７－24	東雲遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
9・19	森町1丁目113-1の一部	池上曽根遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
10・4	豊中958－４	豊中遺跡	発掘調査	展示場付事務所建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められず。（9116）
10・8	池浦町2丁目576-1の一部	虫取遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
10・21	我孫子253－11	虫取遺跡	立会調査	事務所付倉庫建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
11・3	下条町12－13	池浦遺跡	立会調査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
11・6	我孫子299	池浦遺跡	立会調査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。

月　日	調　査　地　番	遺　跡　名	調査内容	備　　考（調査番号）
11・23	我孫子253－11	虫　取　遺　跡	立　会　調　査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
12・2	板原1248 1249	板　原　遺　跡	立　会　調　査	遊技場建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
12・6	池浦町2丁目546-1の一部	虫取遺跡周辺部	立　会　調　査	住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
12・13	森町２丁目13－18 －24	池上曽根遺跡	立　会　調　査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
12・18	宮町33－６	池　浦　遺　跡	立　会　調　査	事務所付倉庫建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
12・20	森町2丁目165-1の一部	池上曽根遺跡	立　会　調　査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・20	東豊中町１丁目95－１	豊　中　遺　跡	立　会　調　査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
12・21	森町１丁目102－15	池上曽根遺跡	立　会　調　査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・22	池浦町２丁目576－１	虫　取　遺　跡	立　会　調　査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
12・27	東豊中町１丁目98－２	豊　中　遺　跡	立　会　調　査	共同住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
１・９	北豊中町600 600－１	七ノ坪遺跡	立　会　調　査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
１・10	北豊中町３丁目981－1 －2 －3	豊　中　遺　跡	立　会　調　査	給油所建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
１・14	末広町１丁目334－24	大　園　遺　跡	立　会　調　査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
１・16	東豊中町１丁目101－6 －7	豊　中　遺　跡	発　掘　調　査	店舗及び事務所建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められず。（9201）
１・17	宮町33－６	池　浦　遺　跡	立　会　調　査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
１・21	北豊中町３丁目980	豊　中　遺　跡	発　掘　調　査	倉庫建設工事に先立つ調査でピット検出。土師器・須恵器検出。（9202）
１・24	北豊中町2丁目477－17	豊　中　遺　跡	立　会　調　査	住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
１・25	北豊中町600 600－１	七ノ坪遺跡	立　会　調　査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
１・27	我孫子426－５	虫　取　遺　跡	発　掘　調　査	都市計画道路建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。（9203）

表4　平成2年度調査一覧表（追加分）　（平成3年2月1日～平成3年3月31日）

月　日	調　査　地　番	遺　跡　名	調査内容	備　　考（調査番号）
2・5	北豊中町3丁目976－9	豊中遺跡	発掘調査	事務所付き倉庫建設工事による調査で、遺構・遺物等は認められず。（9102）
2・6	東豊中町2丁目 963－3の一部、－11 －14、－15	豊中遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
2・12	我孫子378－2	穴田遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
2・13	我孫子214－18	虫取遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
2・19	下条町614－46	池浦遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
2・21	我孫子58	穴田遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
2・27	北豊中町2丁目986－14	豊中遺跡	発掘調査	店舗建設工事による調査で、遺構・遺物等は認められず。（9103）
3・2	宇多1046－12	虫取遺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
3・4 ～ 3・7	豊中956－2	豊中遺跡	発掘調査	個人住宅建設工事による調査で、鋤溝・ピット検出。土師器・瓦器検出（TO－35）
3・12	宇多1048－93	虫取遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
3・12	宇多1046－6	虫取遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
3・12	宇多1048－100	虫取遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
3・26	我孫子353－3	穴師薬師寺跡	立会調査	住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
3・26	豊中447－3、445－1 446－1、450－1	豊中遺跡	発掘調査	社員寮建設工事による調査で、付近の既往調査結果から遺構の存在が予想される。 須恵器・瓦器・土師器検出。（9104）

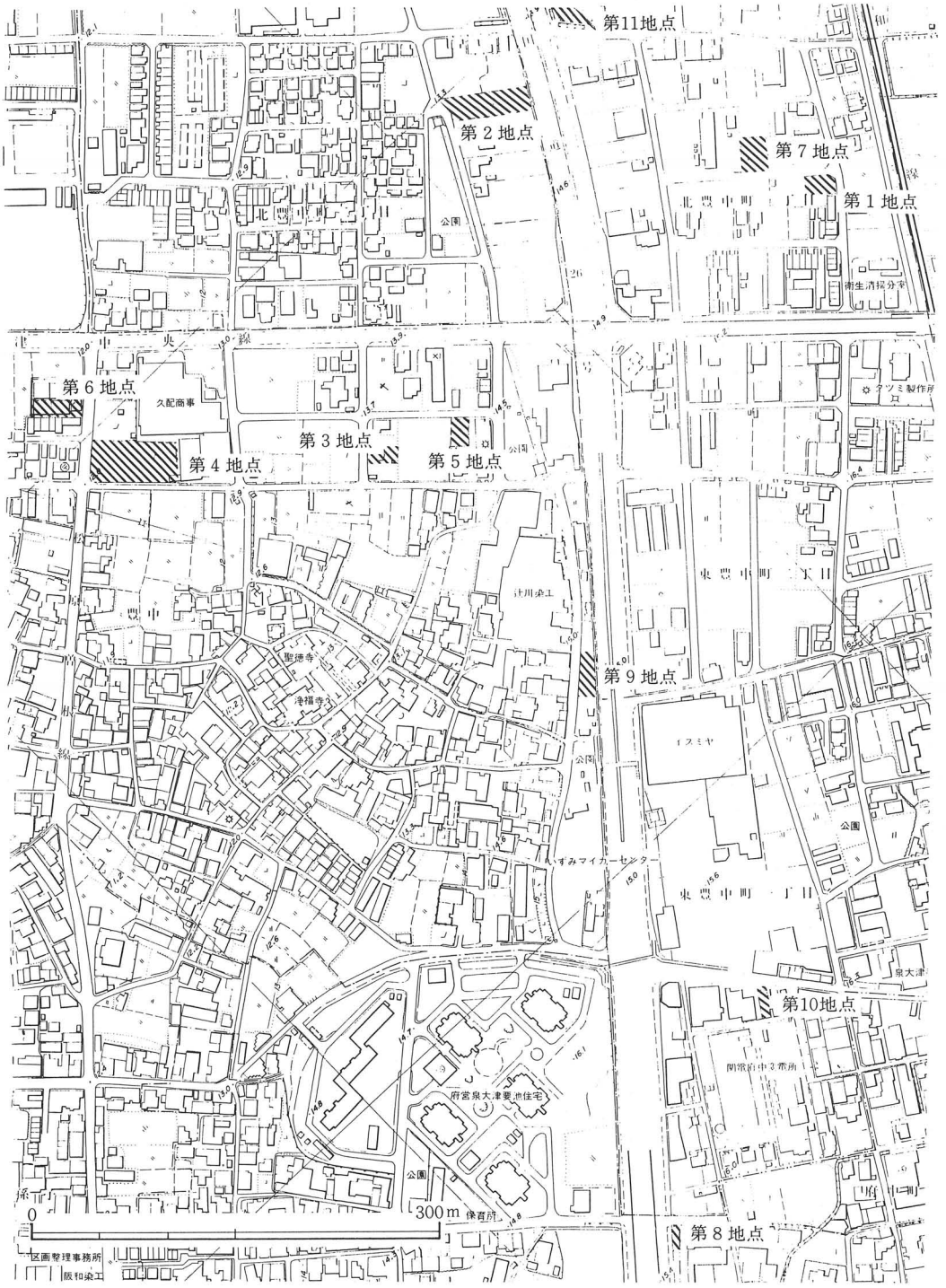


1．大園遺跡　2．森遺跡　3．牛滝塚　4．助松遺跡　5．池上曽根遺跡　6．豊中遺跡　7．七ノ坪遺跡
8．穴師遺跡　9．池浦遺跡　10．東雲遺跡　11．穴師薬師寺跡　12．穴田遺跡　13．板原遺跡　14．虫取遺跡
15．大福寺跡　16．苅田城跡　17．千原城跡　18．真鍋城跡　19．城の山

第1図　遺跡分布図

第２章　発掘調査報告

１　豊中遺跡



第２図　豊中遺跡調査地点図（１：5,000）

第　1　地　点(北豊中町３丁目976－９　調査番号9102)

本調査地区は豊中遺跡の北東部に位置し、約100ｍ東で和泉市と境界を接する。今回の調査は、事務所付倉庫の新築による事前発掘調査である。

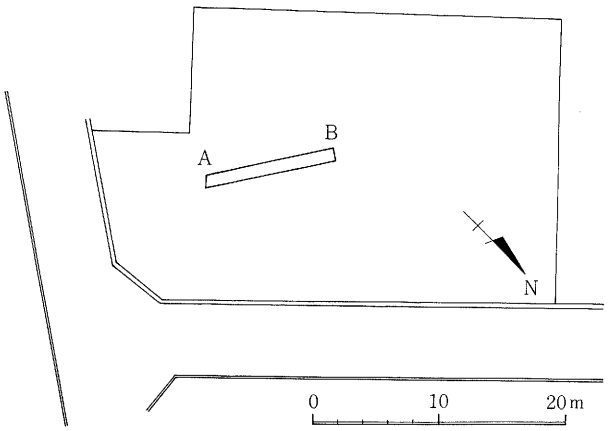
調査区は、敷地内の中央よりやや東寄りに、幅1.0ｍ、長さ9.3ｍ、深さ0.65ｍの規模で設定した。

掘削はまず重機で行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

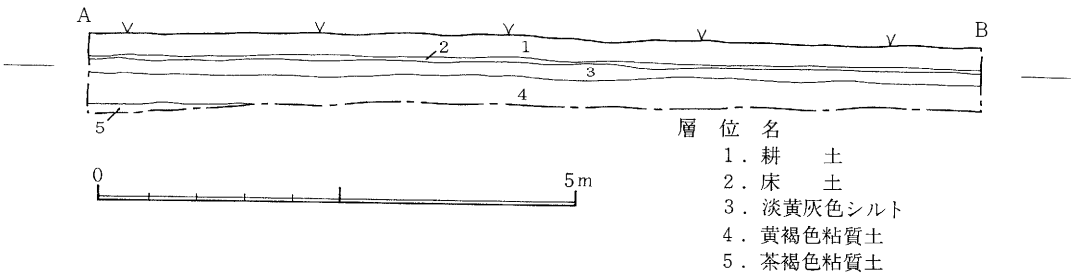
調査区の基本的な層序は、耕土（１層）約20cm、床土（２層）約５cm、淡黄灰色シルト（３層）約15cm、黄褐色粘質土（４層）約30cmで茶褐色粘質土に至る。淡黄灰色シルトより土師器、須恵器、瓦器を検出したが、いずれも小破片で図示し得ない。

建物基礎が約50cmと浅いため、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。

本調査地区付近は、既往の調査結果においても、遺物は検出されるが、遺構は未確認である。昭和50年頃の区画整理時に、何らかの削平や地盤改良を受けていた可能性が考えられる。



第３図　豊中遺跡　第１地点掘削位置図



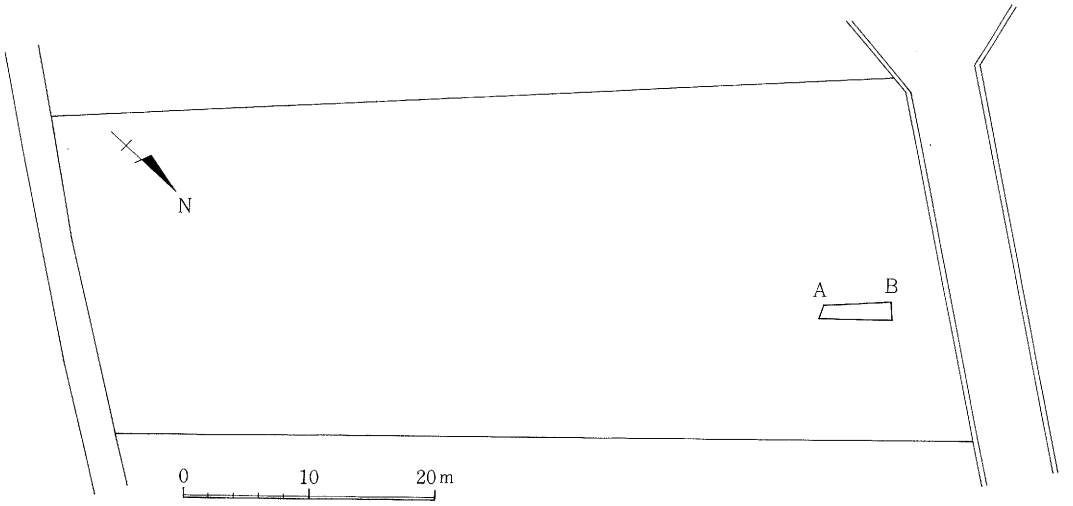
第４図　豊中遺跡　第１地点　南壁断面図

第　2　地　点(北豊中町２丁目986－14　調査番号9103)

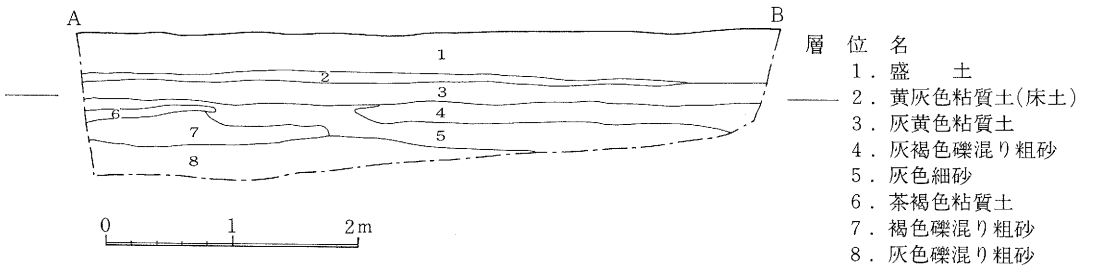
本調査地区は豊中遺跡の北端に位置する。今回の調査は店舗建設工事による事前発掘調査である。調査区は、敷地の北西端に幅1.1ｍ、長さ6.0ｍ、深さ0.7～1.1ｍの規模で設定し、掘削は重機で行なった。

基本的な層序は、盛土（１層）約30cm、床土（２層）約８cm、灰黄色粘質土（３層）18cm、の下層は灰色及び、褐色を基調とした砂層がみられる（４、５、７、８層)。付近の既往調査結果から、旧河川内に位置するものと思われる。遺構・遺物は全く検出されなかった。

調査区中央部から東部分にかけて、道路面にあわせて現状地盤面から１ｍ近くの盛土がされる。このため調査は、本調査区のみとし、写真撮影及び断面図を作成し終了した。



第５図　豊中遺跡　第２地点掘削位置図



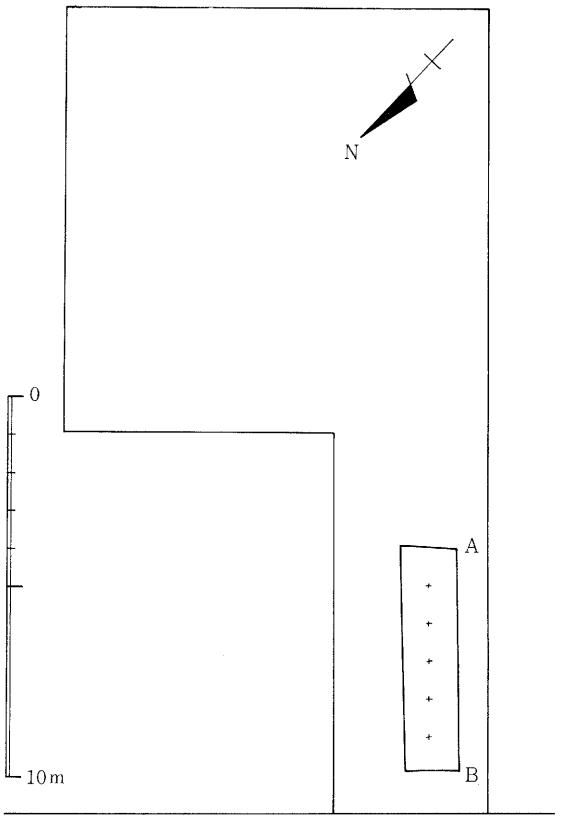
第６図　豊中遺跡　第２地点　南壁断面図

第　3　地　点(豊中956－2　調査番号ＴＯ－35)

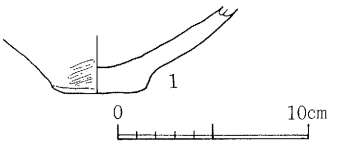
本調査地区は豊中遺跡の北西部に位置する。今回の調査は、個人住宅建設による事前発掘調査である。本調査地区周辺部は、住居址及び井戸等が多数確認されており、今回の調査地区においても遺構の検出が想定された。調査は、建物基礎部分が浅いため、敷地内の建築予定地外で行なった。

敷地内の南西隅に、幅1.5m、長さ6.0m、深さ0.8mの調査区を設定し、人力のみの掘削を実施した。調査区の基本的な層序は、盛土、耕土、床土を除去すると、北側でにぶい赤褐色粘質土（４層)、南側でオリーブ褐色粘質土（５層）がみられ、黄褐色粘質土（６層)、暗灰黄色シルト（８層)、淡灰色粘質土（９層）に至る。

遺構は、まず第６層をベースとして、南北方向に走る４条の鋤溝を検出した。幅は、10～25cmで非常に浅く、遺物は含まれていない。近世以降のものと思われる。次に第９層をベースとして12個のピットを検出した。ピットの大きさは20～30cm、深さ30cm前後のものが多く、不定形な惰円形を呈している。埋土は灰色を基調とした粘質土である。調査区の面積が狭小なため、ピットの配置の規則性は見出せない。ピット内からは土師器片等を検出したが、いずれも小破片のため図示し得ない。



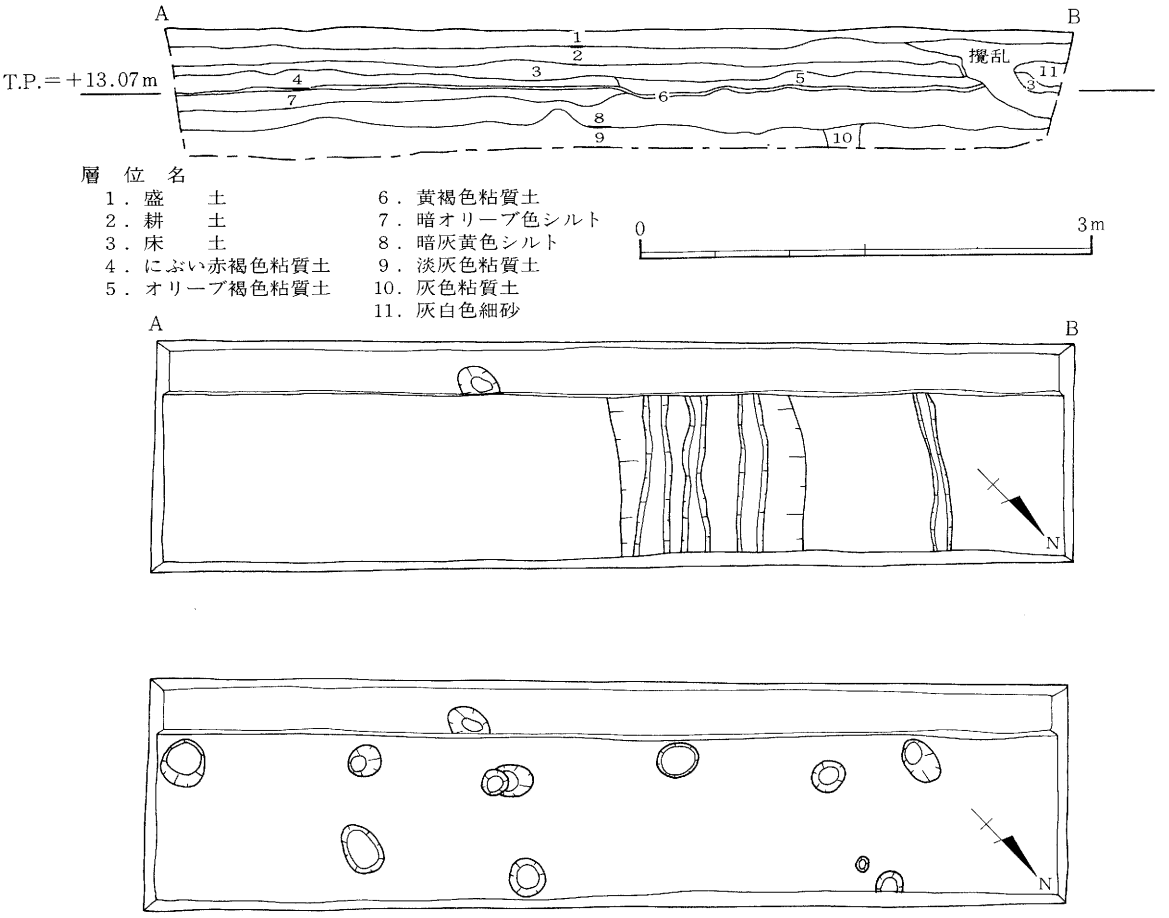
第７図　豊中遺跡　第３地点掘削位置図



第８図　豊中遺跡　第３地点出土遺物

第８図は、トレンチ内の８層で検出した土師器底部である。淡橙色で、外面に斜め右上りのタタキ目がみられる。底部は木の葉底を呈し、底径3.8cmを測る。

遺構内の遺物がほとんどないため、ピットの時期決定には至らなかった。



第 9 図　豊中遺跡　第 3 地点　南壁断面図・平面図

第　4　地　点(豊中445－1、446－1、447－3、450－1　調査番号9104)

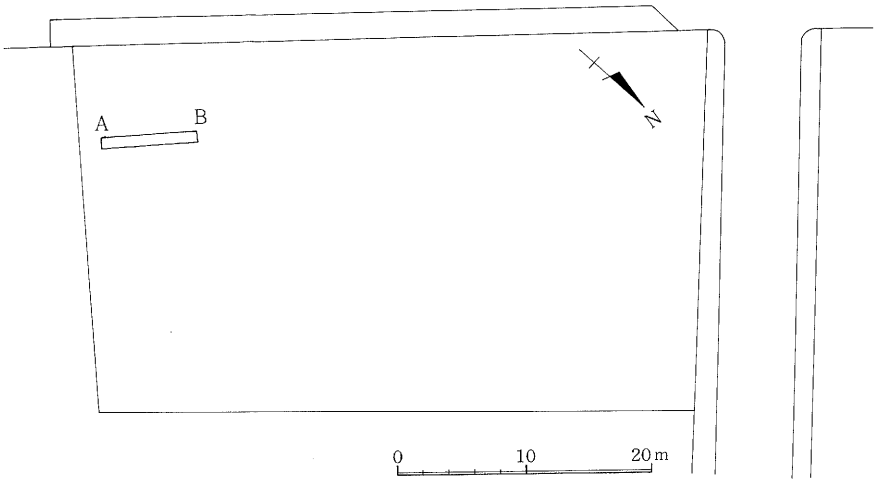
本調査地区は豊中遺跡の西端に位置し、旧字名は「大福寺」で、幕末まで黄檗派の禅宗寺院が存在したと伝承されている。従来の調査では、寺院関係の遺構・遺物は確認されておらず、大福寺跡として周知されているが、実態は把握されていない。しかし、周辺部で、古墳時代前期の竪穴住居址及び中世の井戸等が確認されており、本調査地区でもこれらに関連する遺構の存在が想定される。今回は、当該地で社員寮の建設が予定され、事業者より埋蔵文化財発掘届が提出されたため、工事に先立ち、試掘調査を実施した。

敷地内の南東隅に、幅1.0m、長さ7.6m、深さ約0.8mの規模の調査区を設定した。掘削はまず重機で行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

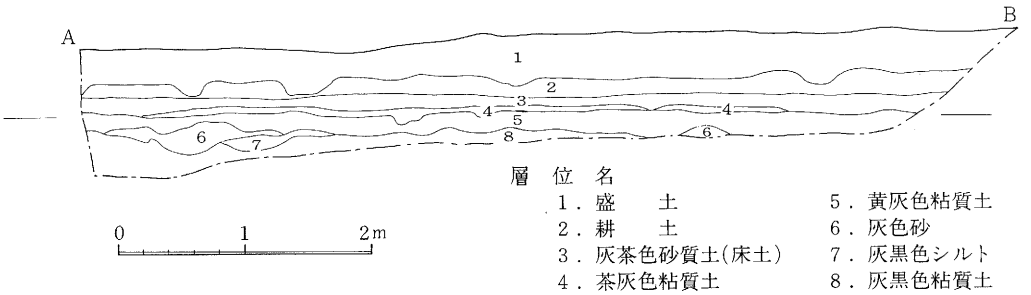
調査区の基本的な層序は、盛土（１層）25～40cm、耕土（２層）１～10cm、床土（３層）約10cm、茶灰色粘質土（４層）約７cm、黄灰色粘質土（５層）約15cm、灰黒色粘質土（８層）に至る。東側では５層の下に灰色砂（６層）及び、灰黒色シルト（７層）がみられ、又、中央部西寄りでも６層が一部分みられる。

５層の黄灰色粘質土は、遺物包含層で、須恵器、瓦器、土師器を多く検出したが、いずれも小破片で図示し得ない。今回の試掘調査では、遺構は確認できなかった。しかし、遺物が小破片ではあるが多数検出した事、又、本調査地区の敷地面積の約半分の600㎡に建物が建設され、現況地盤から10ｍ以上の深さで基礎工事が行なわれる事を考慮し、当該地付近の調査結果より、遺構存在の可能性が高いと判断したため、引き続き建物建築予定地において全面調査を実施することとした。

全面調査は原因者負担で実施したため、報告は別途行なう。



第10図　豊中遺跡　第４地点掘削位置図



第11図　豊中遺跡　第４地点　南壁断面図

第　5　地　点(豊中956－6　調査番号9107)

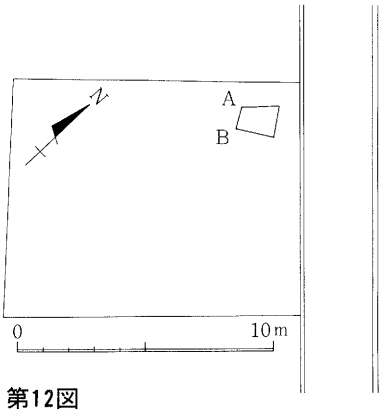
本調査地区は豊中遺跡の中心よりやや西側に位置する。今回の調査は貸倉庫建設に先立つ発掘調査である。

調査区は敷地内の北隅に、幅1.2m、長さ2.4m、深さ0.9mの規模で設定し、まず重機による掘削を行い、その後人力によって、床面及び壁面を削り、調査を実施した。

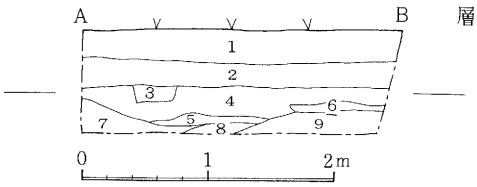
調査区の基本的な層序は、耕土（1層）30cm、灰黄色砂質土（2層）20cm、灰黄色シルト（4層）10～20cmで、その下層は砂利層及び粘土層が相互に堆積している（5～9層)。また4層の西側では、一部、黄灰色シルト（3層）がみられる。

灰黄色シルト（4層）から、須恵器、土師器、瓦器を検出したが、いずれも磨滅が激しく、図示できるのは須恵器片のみである（第14図)。調査地区付近は、中世の井戸とともに、広範囲に堆積する砂利層が想定される。本調査地区もその一端と考えられ、検出した遺物は、上流部より流されてきたものと思われる。

遺物は確認できたが、遺構は認められず、湧水も激しいため本調査をもって終了した。

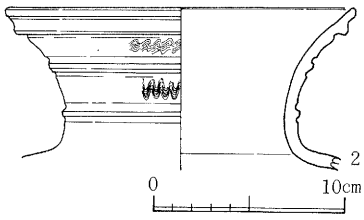


第12図
豊中遺跡　第5地点掘削位置図



層位名
1．耕　　土
2．灰黄色砂質土
3．黄灰色シルト
4．灰黄色シルト
5．灰色粗砂
6．灰色細砂
7．灰黄色粘土
8．暗灰褐色粘土
9．灰黄色砂
（部分的に灰黄色粘土）

第13図
豊中遺跡　第5地点　南壁断面図



第14図
豊中遺跡　第5地点出土遺物

第　6　地　点(豊中654－1　調査番号9108)

本調査地区は豊中遺跡の西端部に位置する。今回の調査は共同住宅建設工事による事前発掘調査である。

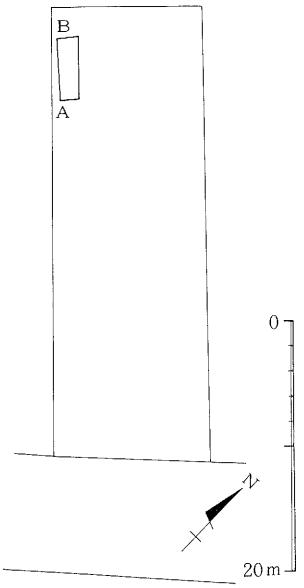
建物基礎が比較的浅いため、基礎予定地外に調査区を設定した。調査区は敷地内の西端に、幅1.4m、長さ5.0m、深さ0.9mの規模で重機による掘削を行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査区の基本的層序は、盛土（1層）55cm、耕土（2層）約10cm、茶灰色砂質土（3層）6～

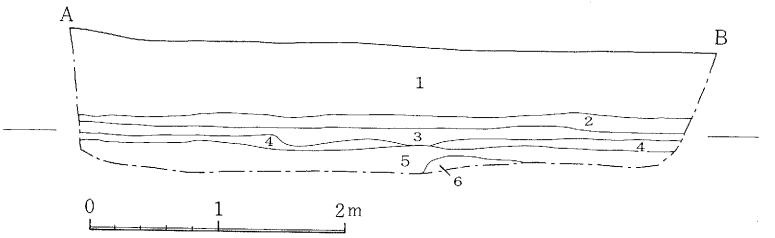
12cm、茶灰色粘質土（４層）約８cm、黄灰色砂に至る。西側では黄灰色粘質土がみられる。

本調査地区の東南部は、広い範囲で遺構が認められるため、本調査区でもそれに続く遺構の存在が想定されたが、遺構・遺物は全く検出されなかった。黄灰色砂（５層）は、本調査区東南部で幅広い堆積がみられる砂利層と一連のものと考えられる。遺構が存在するのは、敷地内の東側部分の可能性が強い。

黄灰色砂より湧水が激しいため、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。



第15図　豊中遺跡
第６地点掘削位置図



層　位　名
１．盛　　土
２．耕　　土
３．茶灰色砂質土(床土)
４．茶灰色粘質土
５．黄灰色砂
６．黄灰色粘質土

第16図　豊中遺跡　第６地点　南壁断面図

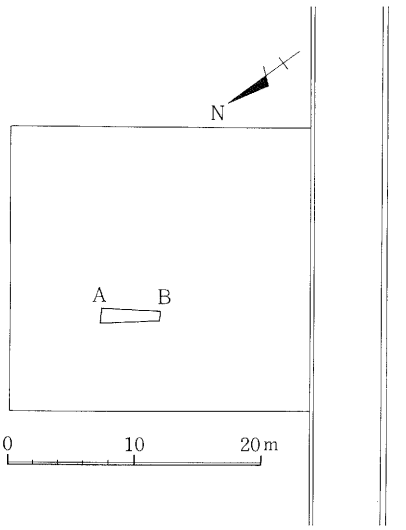
第　７　地　点(北豊中町３丁目977－6の一部　調査番号9109)

本調査地区は豊中遺跡の北東部に位置する。倉庫建設工事に先立つ発掘調査である。

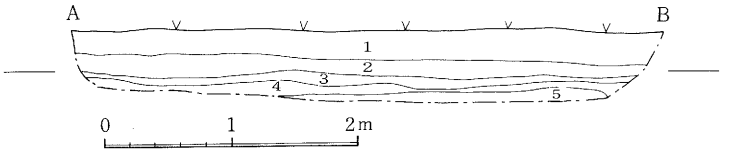
敷地内の中央よりやや北側に、幅1.0m、長さ4.6m、深さ約0.5mの規模で調査区を設定し、調査を実施した。

基本的な層序は、耕土（１層）約20cm、区画整理時盛土（２層）約18cm、黄褐色シルト（３層）約６cm、灰褐色粘質土（４層）に至る。西側では４層の下層に茶褐色粘質土（５層）がみられる。

本調査地区は第１地点のすぐ北側に位置し、第１地点同様、遺構・遺物は検出されなかった。既往の調査結果から、本調査区付近に遺構は存在しないものと思われる。



第17図　豊中遺跡　第７地点掘削位置図



第18図　豊中遺跡　第７地点　東壁断面図

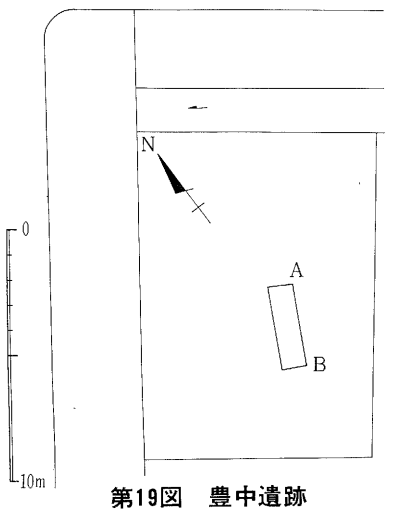
第　８　地　点（我孫子551－2、穴田55－7、調査番号9111）

本調査地区は豊中遺跡の最南端に位置し、東隣及び南隣は和泉市域に属する。今回の調査は貸事務所付倉庫の建設に先立つ調査である。

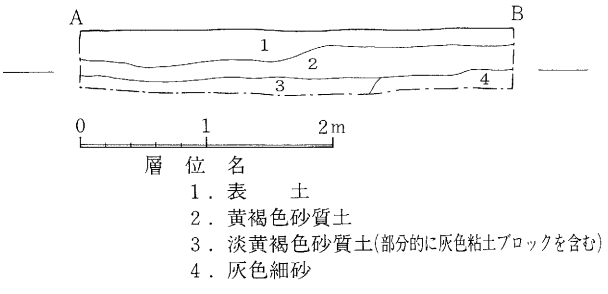
敷地の中央よりやや南側に、幅1.0ｍ、長さ3.4ｍ、深さ0.5ｍの規模で調査区を設定し、重機にて掘削し、その後、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査区での基本的な層序は、表土（１層）10～30cm、黄褐色砂質土（２層）10～25cm、淡黄褐色砂質土（３層）に至る。南側では３層の下層に、灰色細砂（４層）がみられる。

黄褐色砂質土から、土師器、須恵器、磁器を検出したが、いずれも小破片で磨滅が激しいため図示し得ない。遺構の検出はなかった。本調査地区の現況地盤は、道路面より1.5ｍ近く低くなっており、道路面にあわせて盛土がされる。建物基礎部分は、ほぼ盛土内におさまるため、写真撮影及び断面図を作成し、本調査をもって終了した。



第19図　豊中遺跡
第８地点掘削位置図



第20図　豊中遺跡　第８地点　東壁断面図

第　9　地　点(豊中958－4　調査番号9116)

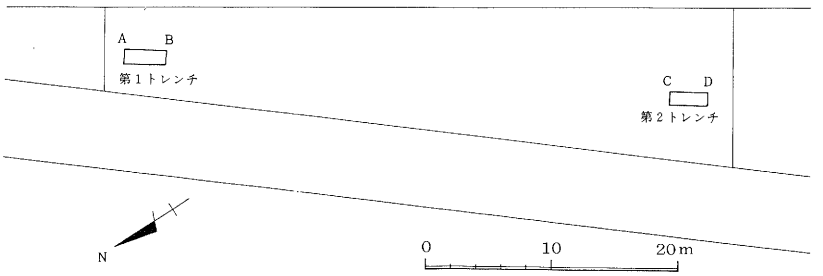
本調査地区は豊中遺跡のほぼ中央部に位置し、東側では国道26号線と接している。今回の調査は、展示場付事務所建設工事に先立つ発掘調査である。

調査地区が南北方向に長いので、北隅と南隅の２ヵ所に調査区を設定し、北隅調査区を第１トレンチ、南隅調査区を第２トレンチとした。第１トレンチは、幅1.0m、長さ3.2m、深さ1.1ｍ、第２トレンチは、幅1.0m、長さ3.0m、深さ1.2ｍの規模で、両トレンチとも掘削はまず重機で行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とする調査を実施した。

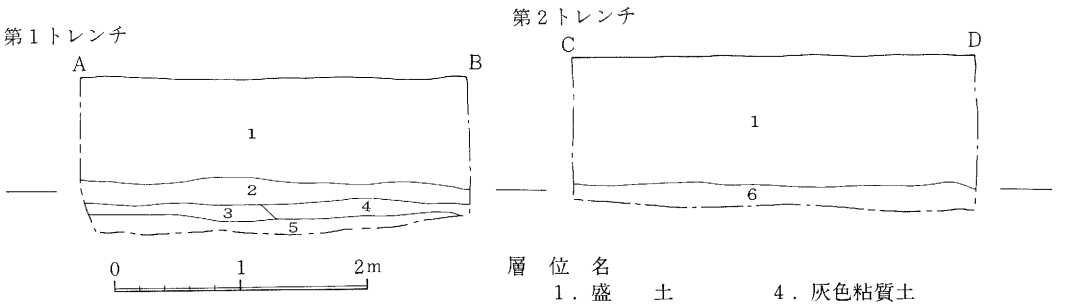
第１トレンチの基本的な層序は、盛土（１層）約80 ～ 90cm、黒灰色粘質土（２層）16cm、灰茶色砂質土（３層）８～16cm、３層の南側は灰色粘質土（５層）７～13cmがみられ、黄灰色粘質土（５層）に至る。

第２トレンチは、盛土（１層）が１ｍ以上あり、その下層は、黒灰色砂（６層）がみられる。

本調査区付近は、26号線より東側部で、布留式土器を伴う竪穴住居等を検出している。また、本調査区南側は、小字名が「古池」で、条里制に影響されていない築造の古い同名の池が存在していた。本調査区は、その池の堤防部分にあたると考えられるが、今回の調査で、遺構・遺物は確認できなかった。建物基礎部分が盛土内におさまるので、写真撮影及び断面図を作成し、本調査をもって終了した。



第21図　豊中遺跡　第９地点掘削位置図



第22図　豊中遺跡　第９地点　南壁断面図

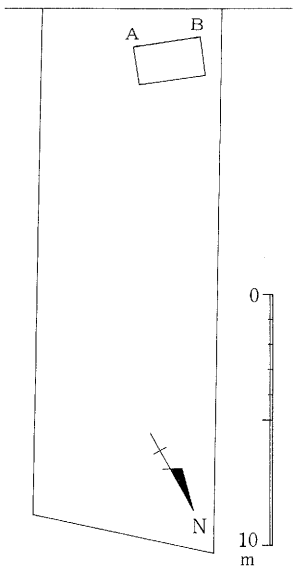
第　10　地　点(東豊中町１丁目101－6、－7　調査番号9201)

本調査地区は豊中遺跡の南東端に位置する。今回の調査は店舗及び事務所建設による事前発掘調査である。

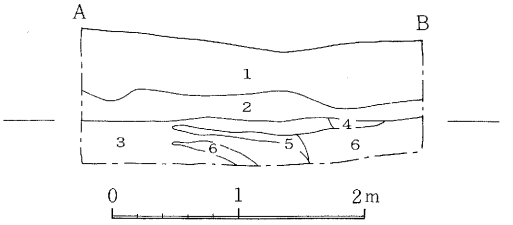
調査区は敷地の南西隅に幅1.5ｍ、長さ2.7ｍ、深さ0.9～1.1ｍの規模で設定した。掘削はまず重機で行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査区の基本的な層序は、盛土（１層）30～50cm、耕土（２層）10～30cm、２層以下は灰色を基調とした微砂、粘砂、粗砂の砂利層が続く（３層～６層)。３層及び６層から湧水が激しくみられ、遺構・遺物も確認できないので、写真撮影及び断面図を作成し、調査を終了した。

既往の調査結果から付近一帯は、広く砂利層が堆積していると考えられる。



第23図　豊中遺跡
第10地点掘削位置図



層　位　名
１．盛　　土
２．耕　　土
３．灰茶色微砂
４．灰茶色粘砂
５．灰黄色粗砂
６．灰色粗砂

第24図　豊中遺跡　第10地点　南壁断面図

第　11　地　点(北豊中町３丁目980　調査番号9202)

本調査区は豊中遺跡の最東端に位置し、西側は国道26号線に面し、東側は和泉市域に接している。今回の調査は事務所付貸倉庫建設による事前発掘調査である。

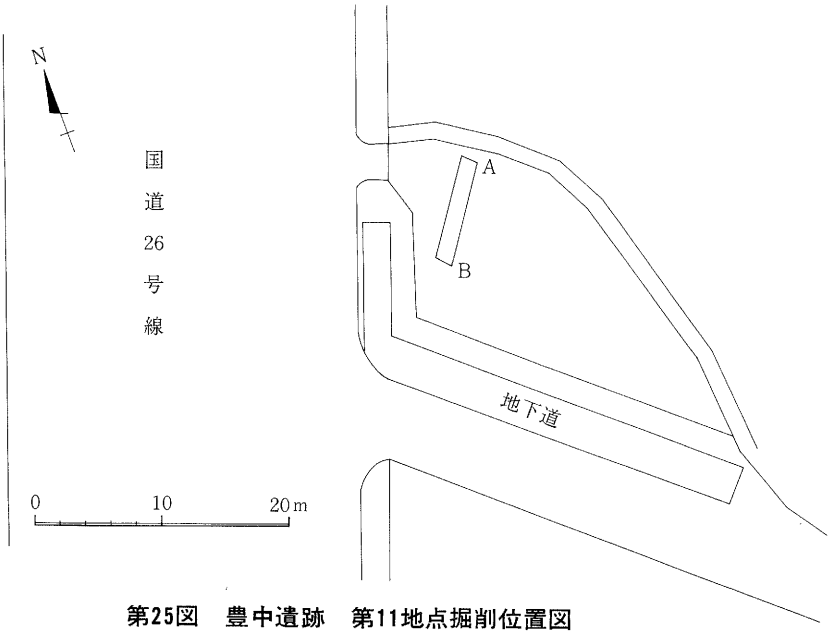
調査区は敷地の西側に幅1.0ｍ、長さ8.3ｍ、深さ約0.8ｍの規模で設定した。掘削はまず重機で行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査区の基本的な層序は、耕土（１層）18～30cm、灰色砂質土（２層）16～20cm、黄灰色砂質土（３層）８～18cm、茶灰色粘質土（４層）６～18cm、東側では第３層の下層に茶灰色砂混りシルト（５層）がみられ、黒灰色粘質土（６層）に至る。

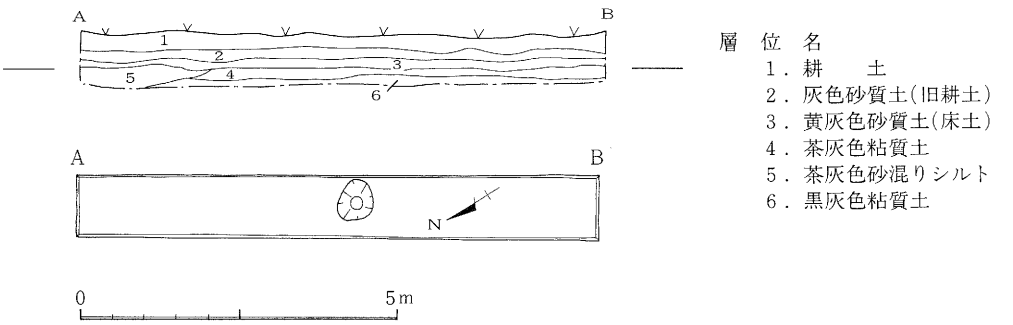
遺構は調査区のほぼ中央でピットを検出した。ピットは第６層をベースとし、埋土は、淡黒灰色粘質土である。遺物は全く含まれていなかった。

遺物は第５層から、土師器、須恵器、瓦器等をわずかに検出したが、いずれも小破片なので図示し得ない。

遺構・遺物ともに検出したが、遺構は遺物が伴わず、性格・年代等は全く不明である。本調査区の現況地盤は道路面よりかなり低く、工事の際盛土がなされるため、建物基礎部分は、盛土内にほぼおさまると思われる。遺構面への影響はほとんどないと判断し、写真撮影及び断面図を作成して、本調査をもって終了した。

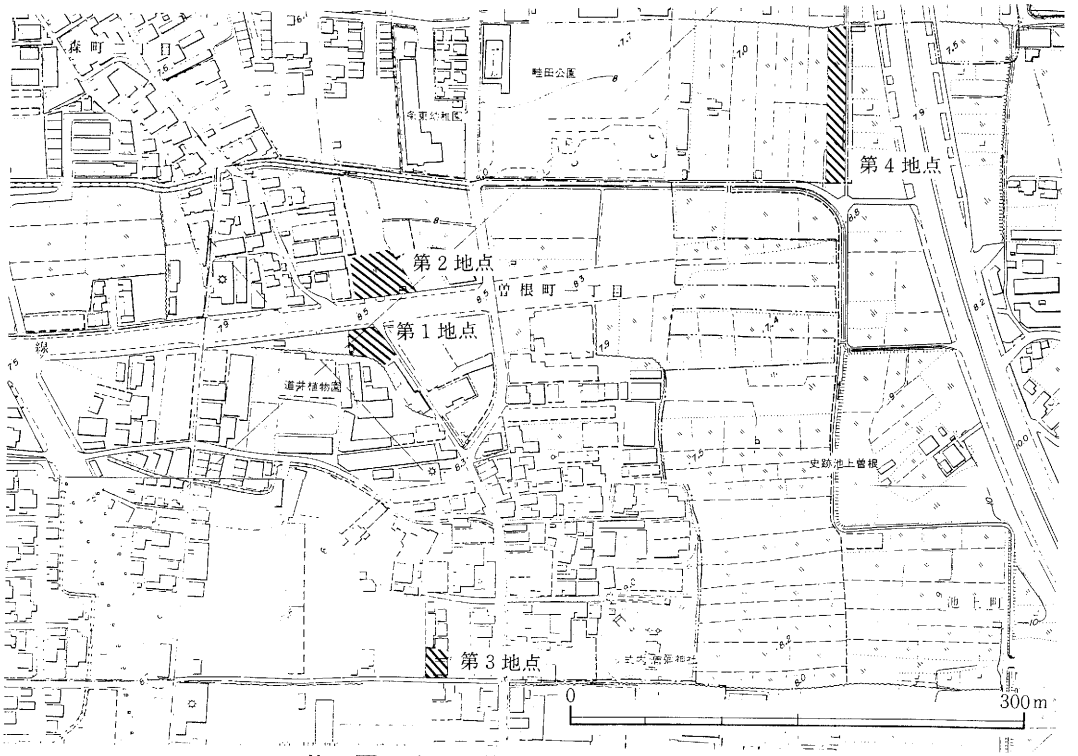


第25図　豊中遺跡　第11地点掘削位置図



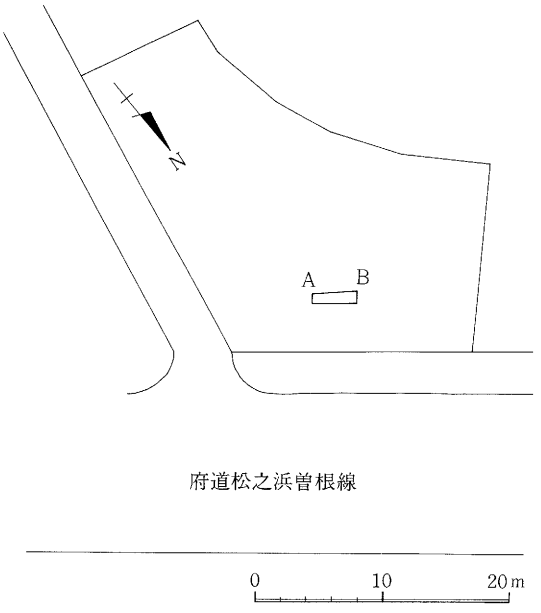
第26図　豊中遺跡　第11地点　東壁断面図・平面図

2　池上・曽根遺跡



第27図　池上・曽根遺跡調査地点図（1：5,000）

第　1　地　点（曽根町１丁目102－1　調査番号9105）



第28図　池上・曽根遺跡　第１地点掘削位置図

本調査地区は池上・曽根遺跡の西端に位置し、北側では府道松之浜曽根線に接している。今回の調査は倉庫建設工事に先立つ調査である。

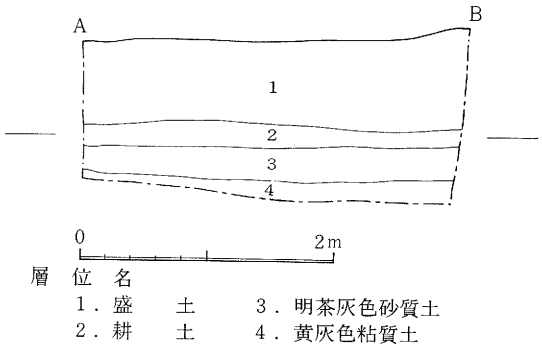
調査区は敷地の中央よりやや北に幅2.0ｍ、長さ3.5ｍ、深さ1.2～1.4ｍの規模で設定した。掘削はまず重機で行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査区の層序は、盛土（１層）65～80cm、耕土（２層）14～20cm、明茶灰色砂質土（３層）約26cm、黄灰色粘質土（４層）の順に堆積がみられる。

明茶灰色砂質土（３層）は床土で、須恵器、

土師器等をわずかに検出したが、いずれも小破片なので、図示し得ない。遺構は確認できなかった。

遺物はわずかに検出したが、遺構が確認できなかったため、写真撮影及び断面図を作成し、本調査をもって終了した。

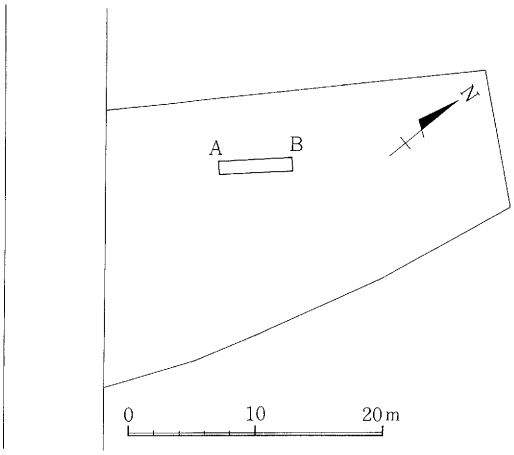


第29図 池上・曽根遺跡 第1地点 南壁断面図

第 2 地 点(曽根町1丁目440 調査番号9110)

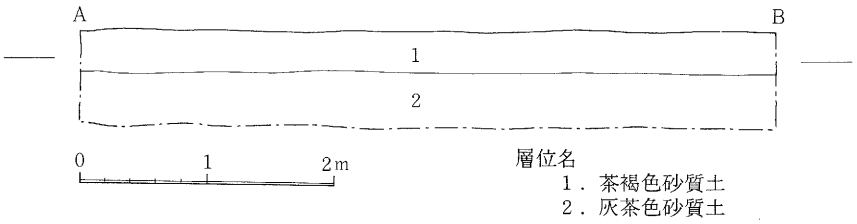
本調査地区は池上・曽根遺跡の西端に位置し、南側には府道松之浜曽根線をはさみ、第1調査地点が所在する。今回は、本調査地区で個人住宅の建設が予定されたため、工事着工に先立ち調査を実施した。

敷地の中央よりやや北寄りに、幅1.2m、長さ6.0m、深さ約0.8mの規模で調査区を設定した。掘削はまず重機で行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。調査区の層序は、茶褐色砂質土（1層）約30cm、灰褐色砂質土（2層）の堆積がみられ、2層の下層は砂利層が確認できる。遺構及び遺物は全く認められない。



第30図 池上・曽根遺跡 第2地点掘削位置図

本調査地区の現況地盤は、府道松之浜曽根線の道路面より1m近く低いため、敷地全体にわたり盛土がなされる。建物は木造で、基礎が約50cmと浅いため、盛土にすべておさまる。遺構・遺物の検出がなく、基礎部分も浅いため、写真撮影及び断面図を作成し、本調査をもって終了した。



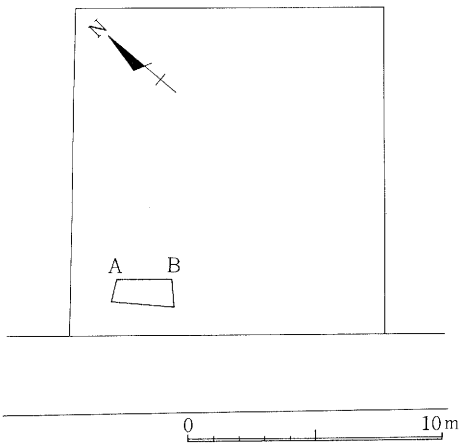
第31図 池上・曽根遺跡 第2地点 西壁断面図

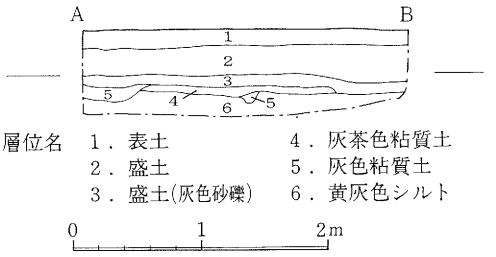
第　3　地　点(曽根町１丁目３－26　調査番号9112)

本調査地区は池上・曽根遺跡の中央よりやや西南に位置し、100ｍ東側には式内曽根神社が所在する。今回の調査は、本調査地区で個人住宅の建設が予定されたため、その工事に先立って行われたものである。

敷地の西隅に、幅1.2ｍ、長さ2.5ｍ、深さ0.5～0.7ｍの調査区を設定し、重機による掘削の後、人力により床面・壁面を削る調査を実施した。調査区の基本的な層序は、表土（１層）約12cm、盛土（２層）22～30cm、灰色砂礫（３層）約９cm、灰茶色粘質土（４層）約２cm、黄灰色シルト（６層）に至る。遺物は３層から磁器片を検出したが図示し得ない。遺構は確認できない。

建物が木造住宅で、基礎が非常に浅いため、写真撮影及び断面図を作成し、本調査をもって終了した。



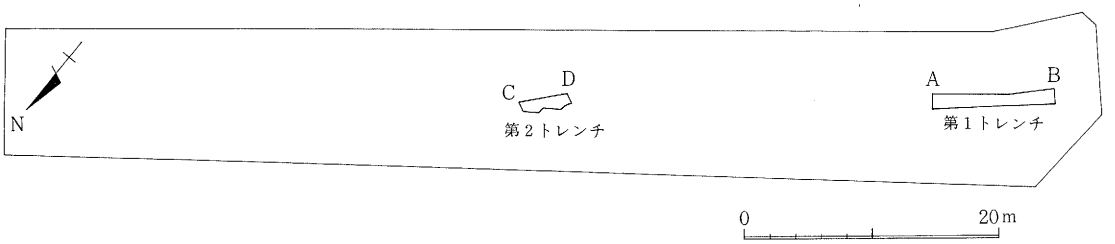


第32図　池上・曽根遺跡　第３地点掘削位置図　第33図　池上・曽根遺跡　第３地点　北壁断面図

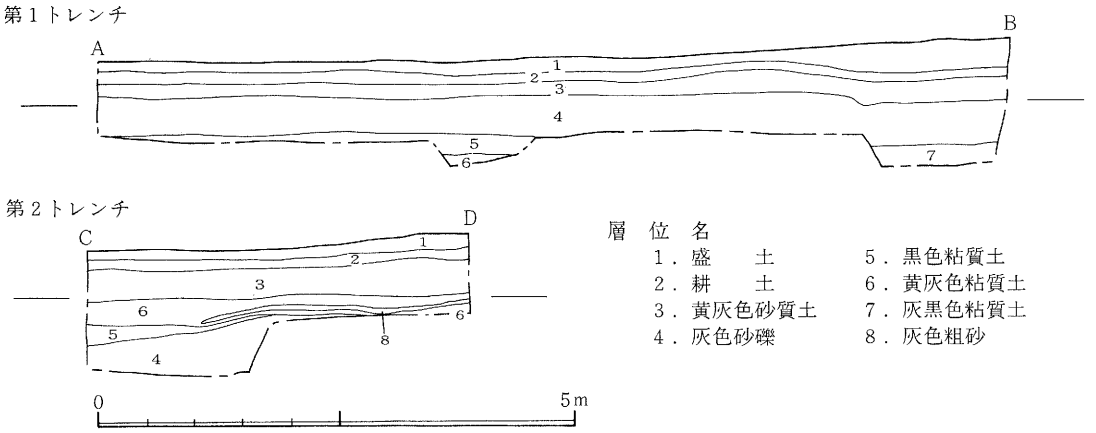
第　4　地　点(千原町２丁目256－1、257－1、258　調査番号9115)

本調査地区は池上・曽根遺跡の東端に位置し、50ｍ南西は史跡指定地となっている。今回の調査はカラオケハウス建設に先立つものである。敷地の西隅に幅1.0ｍ、長さ9.5ｍ、深さ0.8～1.2ｍの規模の調査区を設定し、これを第１トレンチとした。この第１トレンチから東へ約28ｍの場所に幅1.0ｍ、長さ4.0ｍ、深さ0.9～1.3ｍの規模の調査区を設定し、第２トレンチとした。掘削は、まず重機で行い、続いて人力によって壁面・床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査区での層序は、盛土、耕土、黄灰色砂質土が両トレンチでみられる。これに続き第１トレンチでは灰色砂礫、黒色粘質土、黄灰色粘質土の順であるが、第２トレンチでは、４層～６層の堆積が逆の順序でみられる。遺物は第１トレンチの４層から土師器、弥生土器の小破片を検出した。

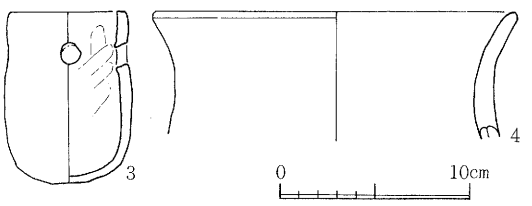


第34図　池上・曽根遺跡　第4地点掘削位置図



第35図　池上・曽根遺跡　第4地点　北壁断面図

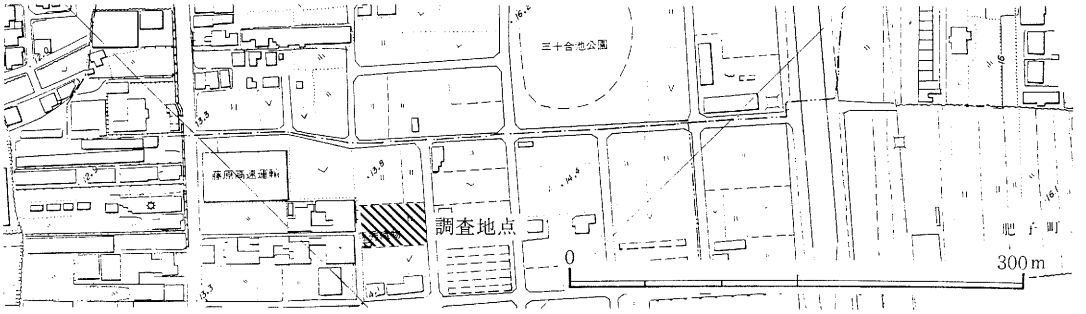
(3)は飯蛸壺で、口径6.0cm、器高9.1cmを測る。わずかに内傾する口縁部をもち、体部は少し張り、丸底を呈する。体部上半に紐孔を1個穿つ。(4)は広口壺で、口径18.8cmを測る。段を有する頸部をもつものと思われる。遺物はトレンチ1の北端でのみみられ、遺構は認められなかった。南へ行くにつれ、遺跡の中心からはずれていくものと思われる。トレンチ2は砂礫層からの湧水が激しく、旧地形は、本調査区北側に所在した池へ向かって低くなっていたと考えられる。第2トレンチ6層から加工痕のある板を検出したが、その両脇に杭を打ち込み、地面に固定された状態で出土した。板は比較的新しく、湿地や田の中に仮設されたあぜ道のようなものであったと思われる。



第36図　池上・曽根遺跡　第4地点出土遺物

3　板原遺跡

調　査　地　点(板原1011、1013、1010の一部、1012の一部　調査番号9106)



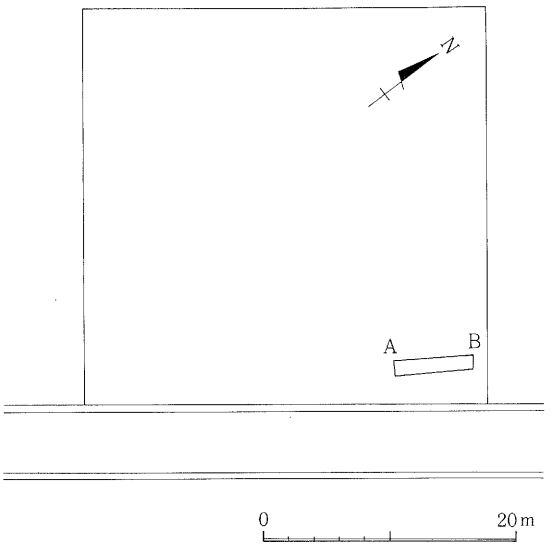
第37図　板原遺跡調査地点図（1：5,000）

本調査地区は板原遺跡の西北端に位置し、250ｍ東には国道26号線が所在する。今回の調査は倉庫建設工事に先立って行なわれたものである。

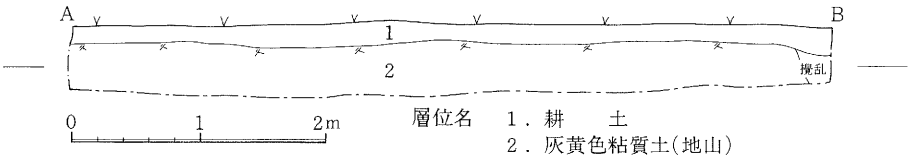
敷地の東隅に幅1.0ｍ、長さ6.0ｍ、深さ約0.4ｍの規模で調査区を設定し、まず重機で掘削を行い、続いて人力で床面・壁面を削り、断面及び床面観察を中心とする調査を実施した。

調査区の層序は、耕土（１層）12～22cmの下は、灰黄色粘質土（２層）で地山である。調査区北端では撹乱がみられる。

遺構・遺物は確認できなかった。本調査地区付近は、近年、畑地から工場・倉庫等への転用が目立つ地域であるが、遺構・遺物ともに確認されていない。今回も遺構・遺物は認められず、写真撮影及び断面図を作成し、本調査をもって終了した。



第38図　板原遺跡　調査地点掘削位置図



第39図　板原遺跡　調査地点　西壁断面図

図　　版

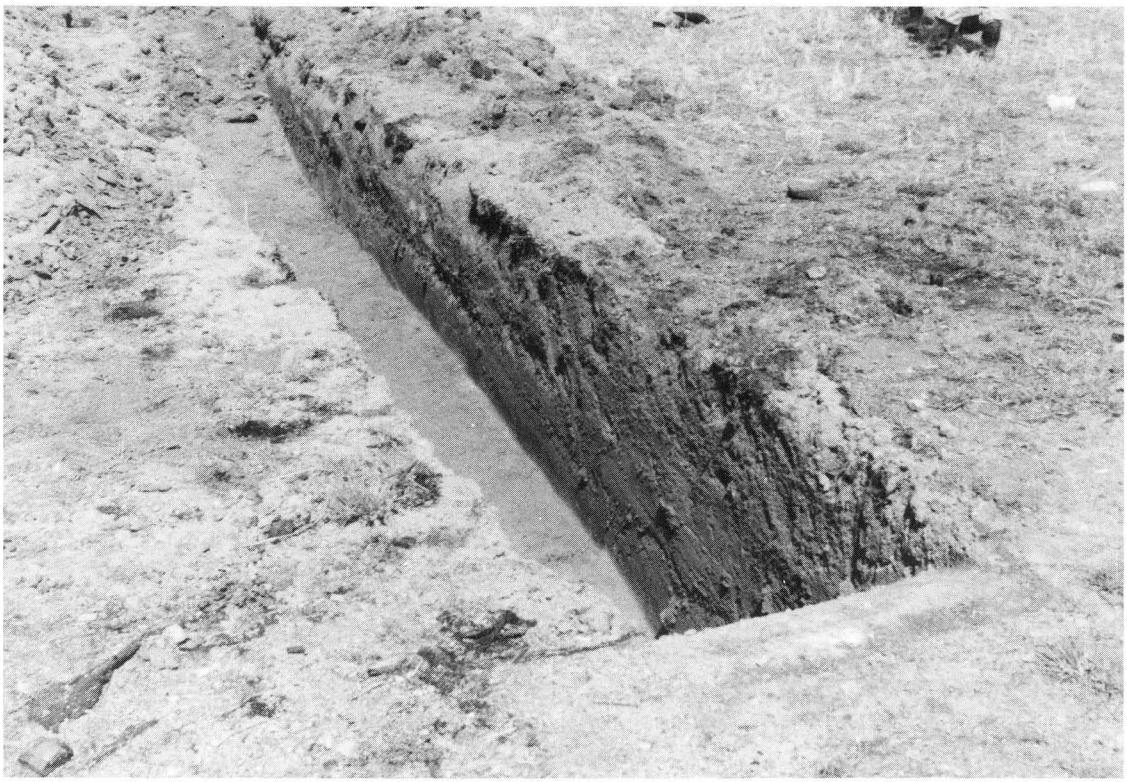
図版第一

豊中遺跡第１地点調査区

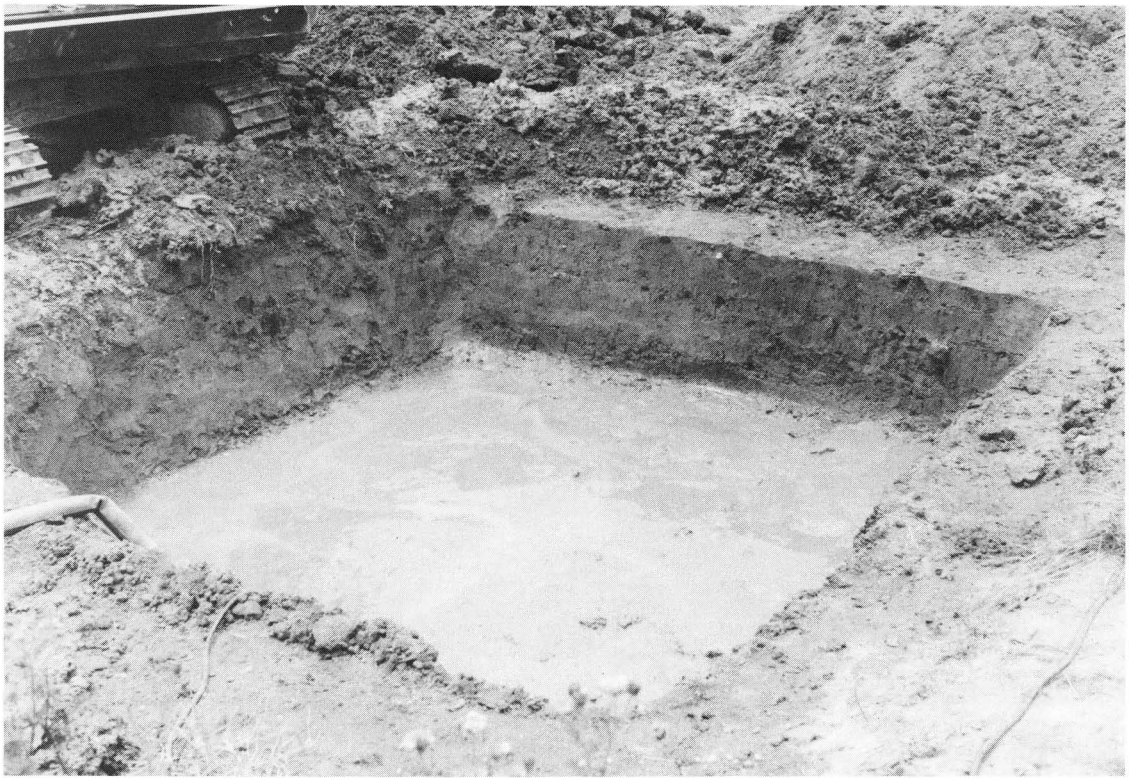
豊中遺跡第２地点調査区

豊中遺跡第３地点調査区

豊中遺跡第３地点調査区



豊中遺跡第４地点調査区

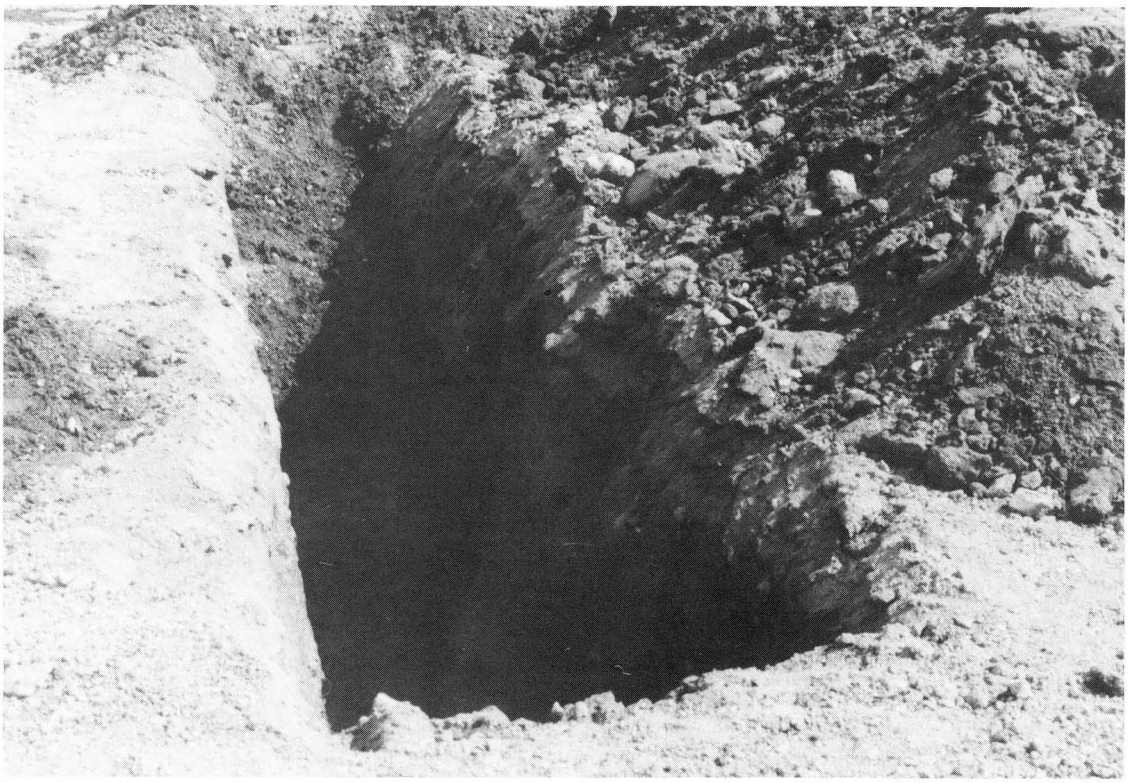


豊中遺跡第５地点調査区

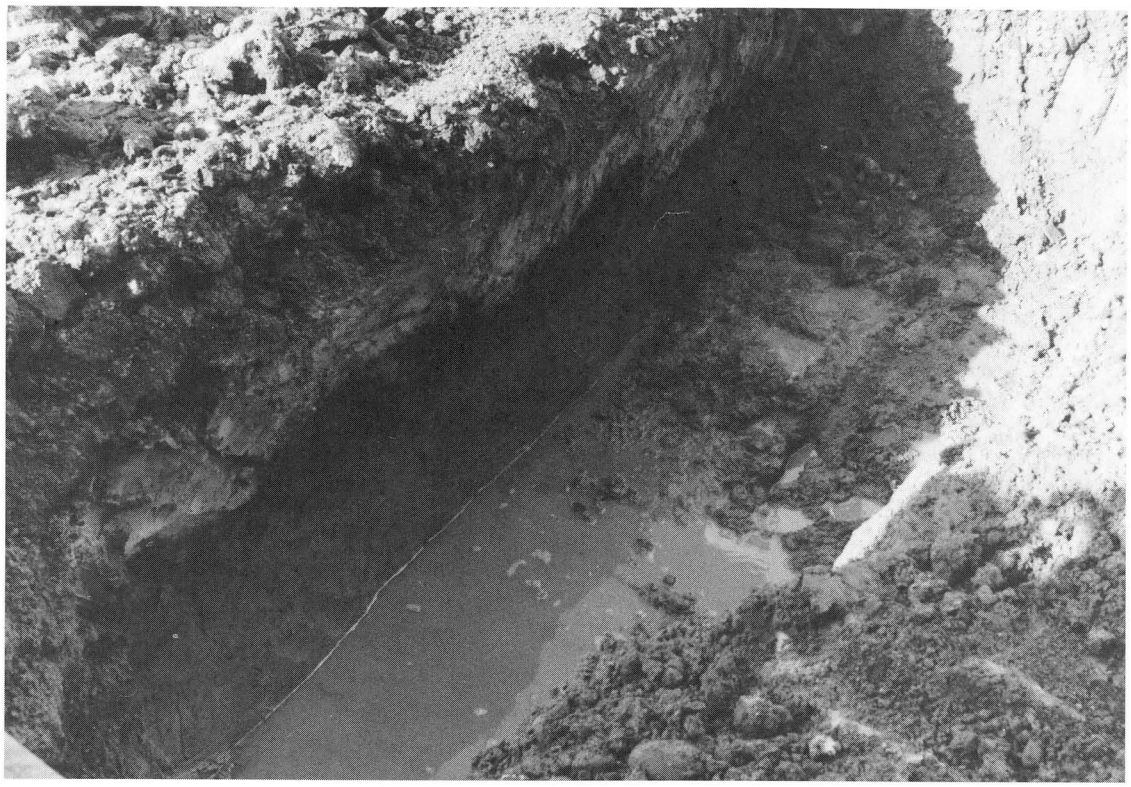
豊中遺跡第 6 地点調査区

豊中遺跡第 7 地点調査区

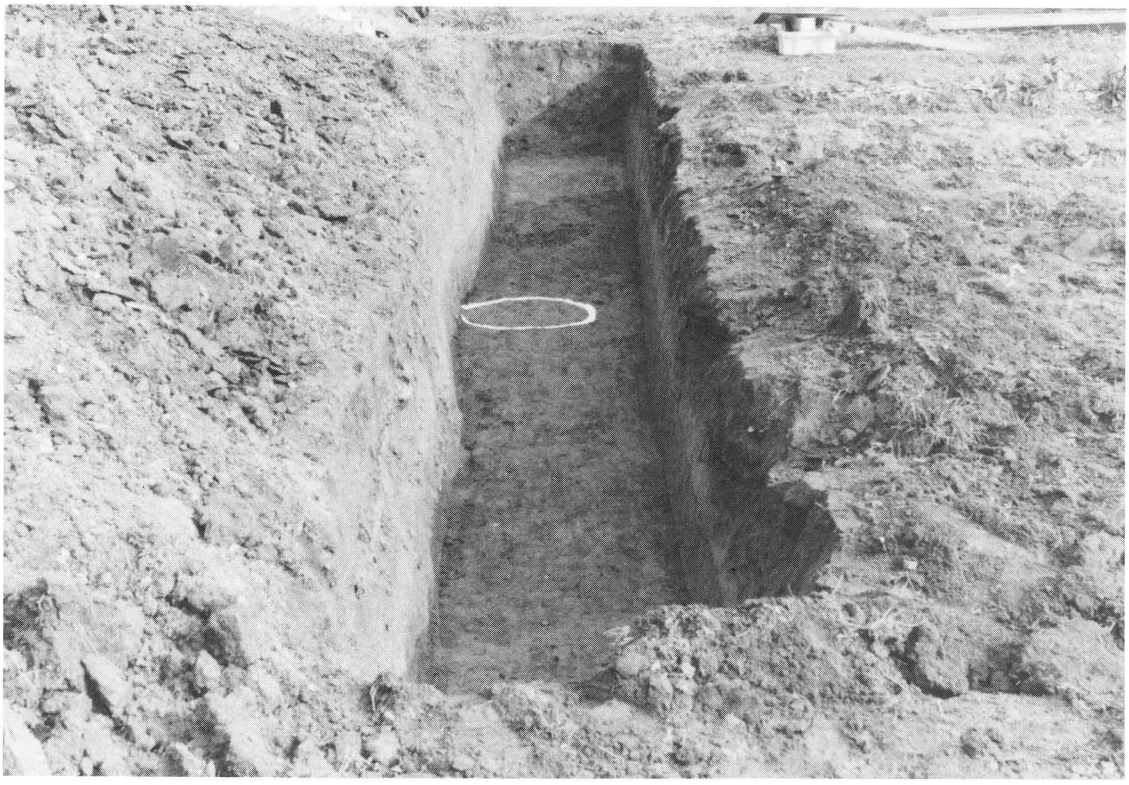
豊中遺跡第８地点調査区



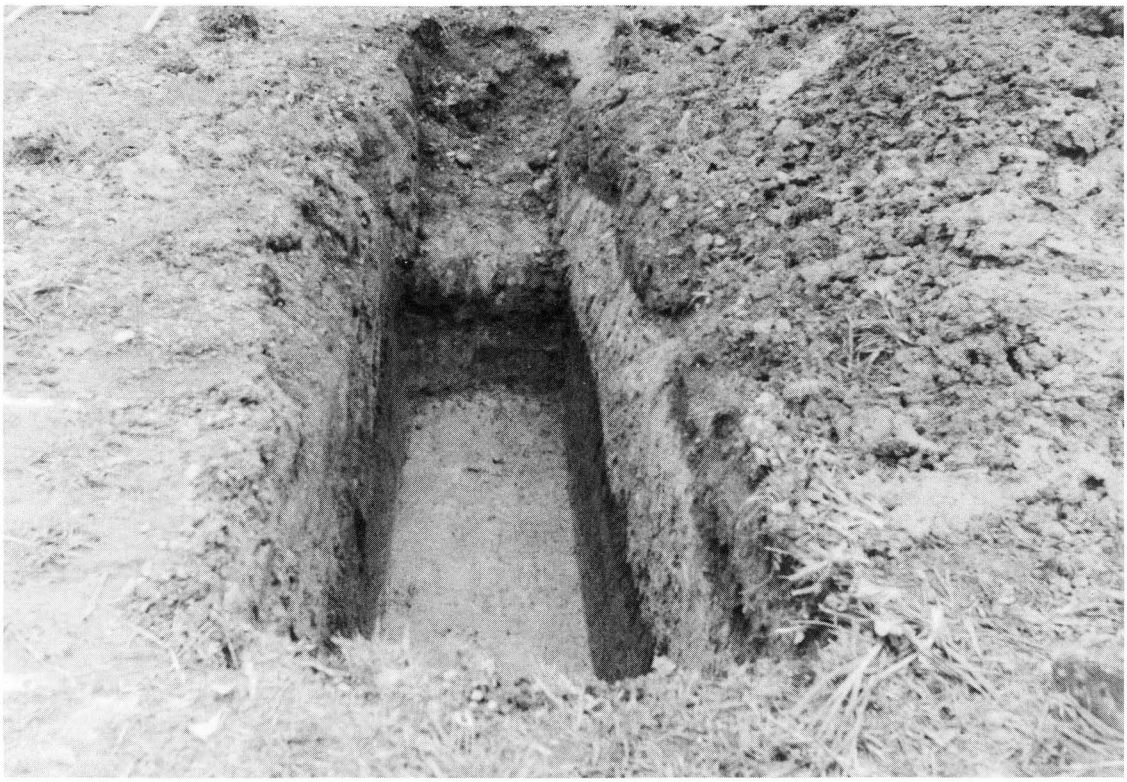
豊中遺跡第９地点第２トレンチ



豊中遺跡第10地点調査区



豊中遺跡第11地点調査区



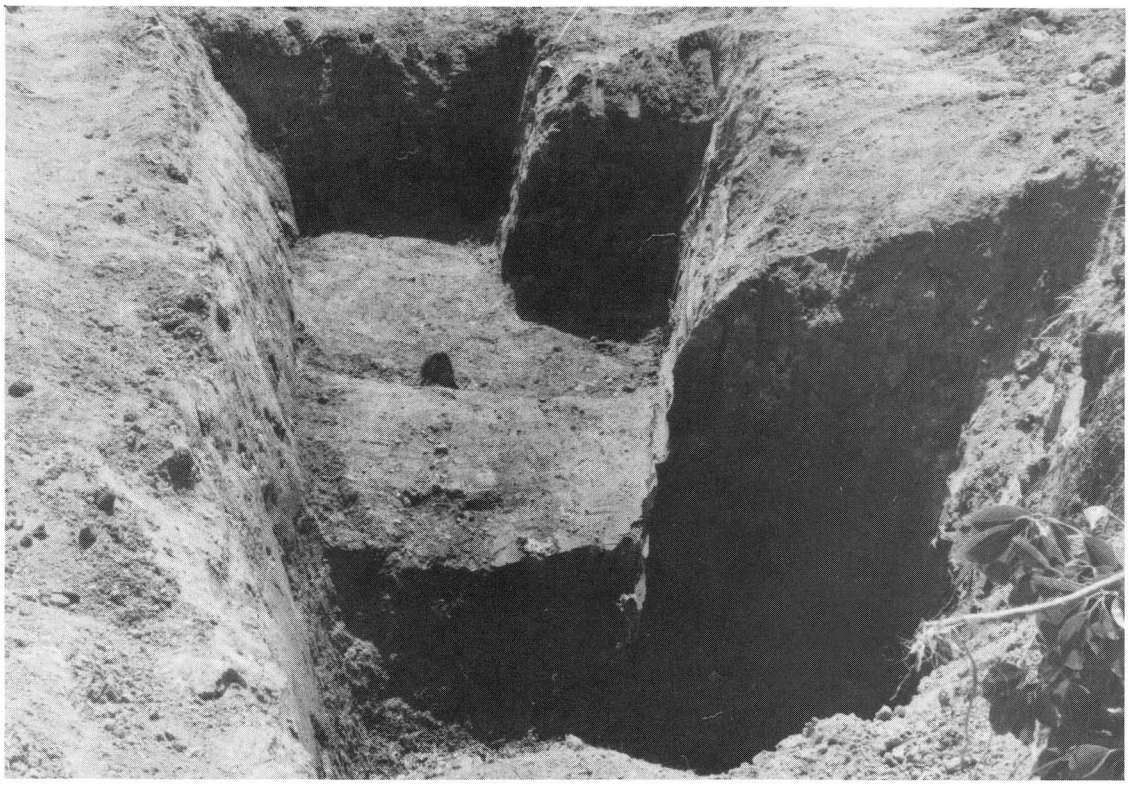
池上・曽根遺跡第 1 地点調査区

池上・曽根遺跡第 2 地点調査区

池上・曽根遺跡第３地点調査区

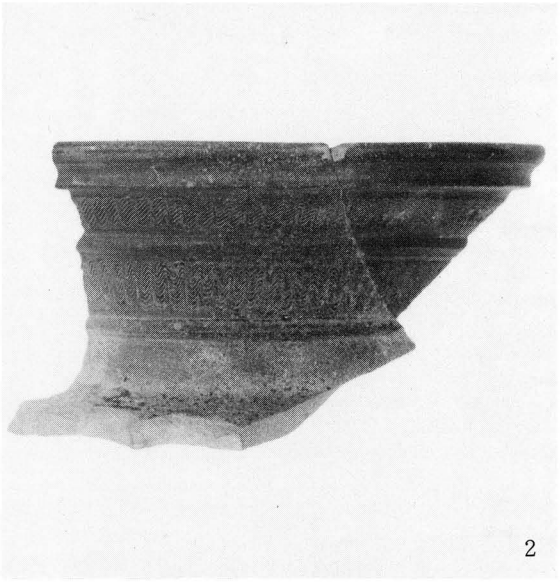
池上・曽根遺跡第４地点第１トレンチ

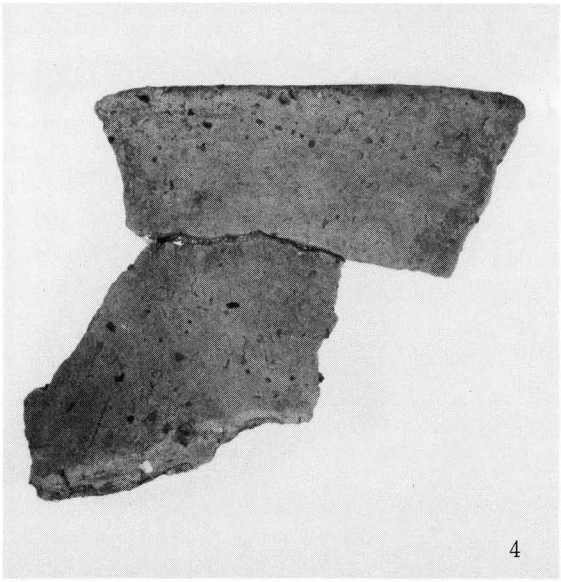
図版第九



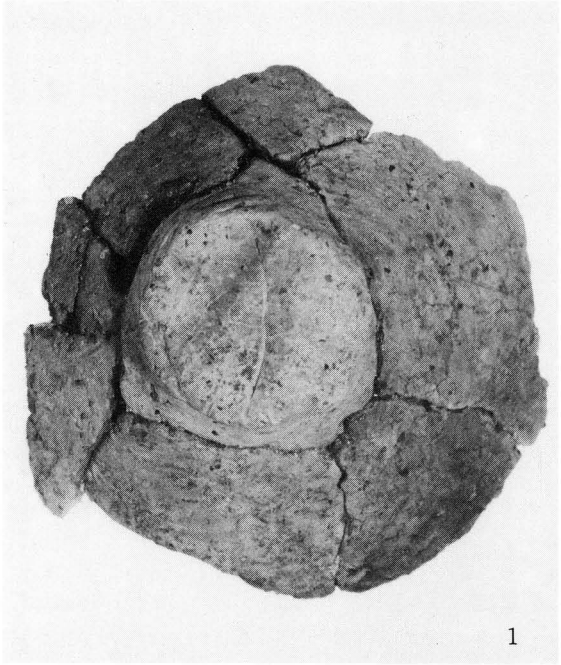
池上・曽根遺跡第４トレンチ第２トレンチ

板原遺跡調査地点調査区


2


4

3


1

1．豊中遺跡　第3地点出土土師器
2．豊中遺跡　第5地点出土須恵器
3．池上・曽根遺跡　第4地点出土飯蛸壺
4．池上・曽根遺跡　第4地点出土弥生土器

泉大津市文化財調査報告22
泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報10

１９９２年３月

発　行　泉大津市教育委員会
編　集　社　会　教　育　課
泉大津市東雲町９番12号

印　刷　和泉出版印刷株式会社
和泉市池上町460－33